

臨床環境医学会の理事長に就任して

北里大学医学部
石川 哲



この度、評議員会ならびに理事会のご推薦により日本臨床環境医学会の理事長に就任させていただきました。身にあまる光栄であるとともにこれからの道のりに険しさを大いに認識しつつ、本学会のため鋭意努力を惜しまぬつもりであります。

想えば日本に臨床・基礎の医学者が一堂に会して、環境問題と密接に関係する種々なる研究をMulti-disciplinaryに討議する学会は今までまったくありませんでした。米国ではすでに科学アカデミーとして認知された環境医学会 Clinical Ecology があり、年2回の学会と教育講演会が会員のために、また、この分野と関係するパラメヂカルの育成に年1-2回の会合が開催されております。イギリス、ドイツでは年1回づつそれぞれの国で学会が開催されております。

対象とする分野は極めて広いのですが、米国ではアレルギー関係者、自律神経関係者、一般内科、神経内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻科、皮膚科、その他広範囲の臨床各科、基礎では薬理、生理、病理、生化学、栄養学、免疫学、分析学、分子生物学、心理学さらには建築学、電気工学、薬学、衛生学、興味あることには漢方医学や鍼、灸およびバイオフィードバック研究者等も入っ

ており、極めて多彩な分野です。おのおのの専門家が各自の領域の話題を提供し学会を運営していくのは必ずしも容易ではありませんが、難しい中にも興味ある問題、かつ重要な問題が山積しております。幸い発会に至るまでの5年間に渡る準備期間に旭川市市長ならびに市役所の方々、さらに旭川医科大学学長を中心とする教授会の方々、旭川市医師会の方々、三菱総合研究所、東京都立神経病院、北里大学医学部ならびに研究所、東京大学衛生学、横浜市立大学公衆衛生学、瀬川小児神経クリニック院長等多くの方々のご援助を得ました。

平成5年4月17、18日には第2回日本臨床環境医学会が田辺等総会長の下で東京で開催されますし、平成5年9月4、5日には旭川市の主催で日本で初めての国際臨床環境医学会議が開催される予定です。日本でのこの学会も海外に引けを取らない優れた学会に育成していく義務感を強く感じます。なにとぞ暖かいご支援を賜りたく心からお願い申し上げます。私は米国環境医学学会員の資格もすでに取得しておりますので、今後先方とも連絡を密に取りつつ本学会の充実発展に努力する所存で御座いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。